

市町村名	沖縄市						
令和5年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	東部海浜地区開発事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部署名	建設部 東部海浜開発局 計画調整課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	東部海浜開発事業について、市民や県民等に対する事業PRIに取り組み、認知度の向上を図る。 また、東部海浜開発地区への企業誘致を図るため、県外企業等に公募手法等の策定に向けたヒアリングを実施する。						
効果発現年度	■ 当年度 ■ 後年度(令和11年度)						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5年度(繰越)
		(a) 当初予算額	14,462	14,462	55,132	81,107	0
		(b) 予算現額	0	14,462	95,132	79,424	0
		(c) 増減額(b-a)	▲ 14,462	0	40,000	▲ 1,683	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	10,998
		A. 計(b+d)	0	14,462	95,132	79,424	10,998
		B. 執行済額	0	12,790	93,011	67,783	10,998
		うち交付金充当額	0	10,232	74,408	54,226	8,798
		次年度繰越額	0		0	10,998	
		執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	88.4%	97.8%	85.3%	100.0%
予算の状況の説明	広報資料等作成業務について、国および沖縄県における埋立地の用途変更に係る公有水面埋立法の手続きを反映させたものを作成することとしているが、当該手続きに不測の時間を要したことから令和6年度へ繰越した。また、当該業務は前金払いの残額10,998千円を令和6年度へ繰越しており、令和6年度において執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	①県外企業誘致等ヒアリング	目 標	(-)	(6回)	(9回)	(6回)	
		実 績	-	0回	2回	3回	
	②PRイベント実施	目 標	(-)	(事業PR実施)	(PRイベント実施3回)	(PRイベント実施)	
		実 績	-	事業PR実施	PRイベント実施2回	PRイベント実施	
	③広報資料等作成業務実施	目 標	()	()	()	(1件)	
		実 績				1件	
	④スーパーヨット誘致効果等検証業務実施	目 標	()	()	()	(1件)	
		実 績				1件	
⑤事業アドバイザー業務実施	目 標	()	()	(1件)	(1件)		
	実 績			1件	1件		
達成状況説明	・県外企業誘致等ヒアリングについて、事業進捗に合わせた公募条件の整理のため、類似事例を実施している自治体へ資料収集や実施状況のヒアリングを実施した。また、国が主催する民間事業者説明会へ参加し、東部海浜開発事業の紹介とヒアリングを行った。併せて事業者からの要望に応じ現地での事業説明や視察等も行った。 そのため、回数としては当初予定を達成できていないが、事業説明や意見徴収等を行う事ができた。 ・東部海浜開発事業「潮乃森」のPRとして、潮乃森ビーチフェスタや県内イベントと連携しての事業PRを行った。 ・スーパーヨット誘致効果等の検証、広報資料等の作成、事業アドバイザー業務を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(11年度)
	①公募条件整理に向けたヒアリング実施(回数)	目 標	()	(9回[35社])	(9回[36社])	(6回[22件])	()
		実 績		0回	2回[10社]	3回[8件]	
	②事業の認知度	目 標	()	(60%以上)	(65%以上)	(60%以上)	()
		実 績		20.8% ※WEBアンケート	57.0%	51.1%	
	③広報資料等作成業務実施	目 標	()	()	()	(1件)	()
		実 績				1件	
	④スーパーヨット誘致効果等検証業務実施	目 標	()	()	()	(1件)	()
		実 績				1件	
	⑤事業アドバイザー業務実施	目 標	()	()	(1件)	(1件)	()
実 績				1件	1件		
【参考指標】 公募事業手法等の策定	目 標	()	()	(1件)	(1件)	(1件)	
	実 績			1件	1件		
進捗状況説明	①ヒアリングの実施については、事業進捗に合わせた公募条件の整理のため、類似事例を実施している自治体へ資料収集や実施状況のヒアリングを実施した。また、国が主催する民間事業者説明会へ参加し、東部海浜開発事業の紹介とヒアリングを行った。併せて事業者からの要望に応じ現地での事業説明や視察等も行った。そのため、回数としては当初予定を達成できていないが、事業説明や意見徴収等を行う事ができた。 ②事業PRイベント(潮乃森ビーチフェスタ2023)でのアンケート回収を行い、事業の認知度は51.1%(5.9%減)であった。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（公募条件整理に向けたヒアリング実施） 公募条件の整理のため民間企業等の動向を把握しているが公募時期の情報提供が必要であると意見があった。 （事業の認知度） 令和5年度の事業PRイベント（潮乃森ビーチフェスタ2023）は、過去最高の来場者を記録しており、アンケート回収数もかなりの数となっているが、認知度の低い10代の回収数が多かった（全体の3分の1）ため、数値が伸びていないと考えられる。	（公募条件整理に向けたヒアリング実施） ・民間事業者へ本地区により関心をもってもらうよう事業の実施時期の情報提供が行えるよう関係機関と調整を行うとともに民間事業者等の動向を把握するため引き続き情報収集を行う必要がある。 （事業の認知度） 東部海浜開発事業の認知度をすべての年代において高めるため、引き続きPRイベントの実施や地域と連携を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
（公募条件に向けたヒアリング実施） 事業の進捗状況や実施時期の情報提供が行えるよう関係機関と調整を行う。また、引き続き、民間事業者等の動向について情報収集を行う。 （事業の認知度） 市民、県民等に向けた事業PRについては、引き続き人工島のビーチを活用したイベント等を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
78,781	78,781	63,024	15,757	0

沖縄市
78,781千円

旅費
752千円

委託料
78,029千円

株式会社
アドスタッフ博報堂
18,541千円

日建設計コンストラクション・マネジメント・日
建設計総合研究所共同企業体
29,920千円

八千代エンジニアリング(株)
沖縄事務所
15,708千円

一般社団法人
日本マリナー・ビーチ協会
13,860千円

県外企業等ヒアリング

東部海浜開発事業PR業務委託(令和5年度)

東部海浜開発事業アドバイザー業務委託(令和5年度)

潮乃森広報資料等作成業務委託
(契約金額15,708千円(繰越額10,998千円))

潮乃森地区スーパーヨット等誘致効果検証業務委託

資金 使途の 流れ、 評価 項目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は、契約差額であり、適正な規模で執行した。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和5年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11-①	沖縄こどもの国施設整備事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア			
担当部署名	企画部 プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度	平成24～令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき、動物園やワンダーミュージアムの充実を図るとともに、動物展示施設やミュージアム展示施設の整備を行う。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(R6年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R3年度	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)
	予算の状況	(a)当初予算額	836,726	602,659	0	41,633	0
		(b)予算現額	836,726	602,659	0	221,633	0
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	180,000	0
		(d)繰越額	0	0	340,283	0	107,250
		A.計(b+d)	836,726	602,659	340,283	221,633	107,250
	B.執行済額		268,340	256,212	340,283	104,069	107,250
	うち交付金充当額		214,672	204,969	269,495	83,255	82,438
	次年度繰越額		568,386	340,283	0	107,250	0
	執行率(%) (B/A)		32.1%	42.5%	100.0%	47.0%	100.0%
予算の状況の説明		来園者の安全確保のため工事工程に不測の日数を要したことで年度内の完了が困難となり繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	ワニ舎周辺エリア整備工事の実施(R2)	目 標	実施				
		実 績	実施				
	クマエリア周辺整備(第2期)の実施(R3)	目 標		実施			
		実 績		実施			
	園内環境演出サイン整備の実施(R4)	目 標			実施		
		実 績			実施		
	親水エリア整備の実施(R4)	目 標			実施		
		実 績			実施		
	沖縄こどもの国周辺エリア地域連携計画作成業務の実施	目 標				実施	
		実 績				実施	
	誘客促進備品購入	目 標				実施	
		実 績				実施	
	園内周遊車購入	目 標				実施	
実 績					実施		
園内Wi-Fi整備工事	目 標				実施		
	実 績				実施		
沖縄こどもの国カンガルー舎周辺エリア環境整備工事の実施	目 標				実施		
	実 績				実施		
カンガルー舎周辺エリア環境整備工事は、来園者への安全配慮を行い、期間はかかったが目標を達成した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(R6年度)
	沖縄こどもの国周辺エリア地域連携計画の策定	目 標	()	()	()	(完了)	()
		実 績				完了	
	誘客促進備品購入	目 標	()	()	()	(完了)	()
		実 績				完了	
	園内周遊車購入	目 標	()	()	()	(完了)	()
		実 績				完了	
	園内Wi-Fi整備工事の完了	目 標	()	()	()	(完了)	()
		実 績				完了	
	カンガルー沖縄こどもの国カンガルー舎周辺エリア環境整備工事の完了	目 標	()	()	()	(完了)	()
実 績					完了		
入園者数	目 標	()	(60万人)	(70万人)	(75万人)	(75万人)	
	実 績		35万人	53万人	68万人	73万人	
進捗状況説明	各業務等を遂行し、完了した。入園者数については目標達成に至っていないものの、夜間開園の通年実施により大幅な増加となっており、引き続き各事業を推進することで目標達成を図る。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	各事業について、遂行に期間を要した事業があるものの完了できた。整備工事に伴う来園者の安全確保のため、一部コンテンツを休止した影響により、97%の目標達成率となった。	令和6年度7月より、新たな来場者層の取り込みとして夜間開園の通年実施を実現し、入園者数の大幅な増加が得られた。目標達成に向けては、ナイトコンテンツの充実を含め、来園者のニーズ等を踏まえた更なる魅力向上を図るとともにに取り組む必要がある。
今後の取り組み方針		
目標達成に向け、ナイトコンテンツの充実を含め、環境演出や各種コンテンツ整備等を推進するとともに、動物舎や各便益施設の整備等、魅力向上に向けた取り組みを推進する。		

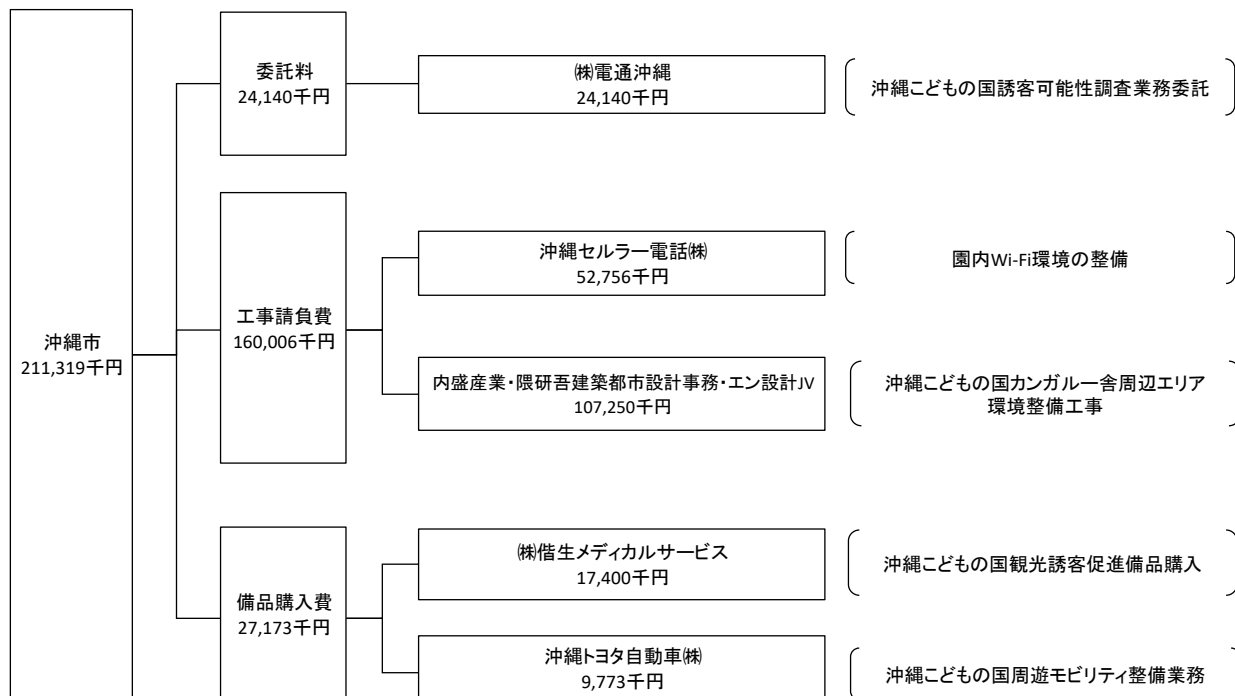
今後の取り組み方針

目標達成に向け、ナイトコンテンツの充実を含め、環境演出や各種コンテンツ整備等を推進するとともに、動物舎や各便益施設の整備等、魅力向上に向けた取り組みを推進する。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費			交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
211,319	211,319	165,693	45,626	



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約の相手方は、公募型プロポーザルにより選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は発生しておらず、適正な予算規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	